



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子! 414名

【今回の学校だよりは、電子媒体と紙媒体での配信となります。児童用にも教室に先生方が掲示していただいています。】

11月の月行事予定表です

11月も運動会同様大切な遠足や観劇会やめになる学習やおいしい日々
の給食、親子活動や素敵な図書館ブックフェスなどの行事が満載です。

11月学校行事予定 (○数字は校時です。)

日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	文化の日
4	火	学校開放日 観劇会：アラジンと魔法のランプ◎保護者の方も750円で参観可能です※福永 SC15:00 来校学校安全の日 (点検日)
5	水	研究授業3-1 読みきかせGT来校 (昼休み) 13:00~13:20
6	木	研究授業2-2③4-1⑤
7	金	6年生親子活動13:00昼休み~⑤ ⑥ 12:10~※運動場 昼休み~下校まで使用不可※谷岡 SC15:00来校
8	土	交流センターまつり (3年生出演11:30~・児童クラブ出演)
9	日	
10	月	家庭学習強化週間~14日
11	火	あおぞら (ニュースポーツ体験学習) ①市ALT来校 (4年生) 薬物乱用防止教室 (6年) ⑤(音楽室)クラブ活動3回目⑥ (クラブ見学) 研究授業5-2 1年生活科 (庄内生活体験学校よりうさぎさん来校) (~13日)
12	水	全研 (5-3) ⑤研究授業 協議会 15:00 嘉穂特別支援学校地域交流
13	木	4年生親子活動(10才を祝う会) ⑤⑥ 4年生15:45下校13:25~運動場使用不可 研究授業1-1 5-1※木下SC来校
14	金	〈市内協調学習研究発表会・全国大会に本校職員参加のため：全校4校時下校12:40〉
15	土	
16	日	飯塚市少年の主張大会 (コスモスコン13:00~)
17	月	県ALT来校 (2年) 児童クラブ連携会議 13:00
18	火	研究授業3-2 小中一貫教育推進委員会 16:00
19	水	市ALT来校 (4年生) 研究授業 (1-2) ②協議会③研究授業2-1
20	木	学校安全の日 研究授業 (4-3) ②協議会③ 人権教育に係る巡回訪問 〈授業参観〉 ⑤
21	金	秋の遠足 (各学年。5年生はサンビレッジ苺で体験学習)
22	土	午前9:00~飯塚市小学校放送コンテスト (庄内中) 放送委員 午後：中学校放送コンテスト
23	日	
24	月	
25	火	委員会活動⑥ (12月) 刈餅 -対応委員会 16:30
26	水	避難訓練 (地震による火災) ②
27	木	代表委員会 (朝)
28	金	5年生社会科見学 (北九州市方面) 1年生親子活動13:30~
29	土	
30	日	



今朝、私を2階廊下の方から呼ぶ声がします。2頭の虎の声が聞こえてきました。そうです。応援団旗製作係の頑張りか2階廊下をパトロール中に垣間見えていました。(後日紹介いたします。)下の写真は5校時目の6年生の感動の組体操の様子です。話は戻りますが、また、1階から私を呼ぶ声がします。「児童会の提案に対し、運動会成功に向けて頑張ることが各クラス決まって勢ぞろいしましたよ。」と聞こえてきました。すてきな言葉がたくさん詰まったカードでした。早朝から感動しました。ありがとうございました。4時間目は体育館から、4年生のファイティングコールが聞こえてきました。勇気や協力の心が育ち学年一つになりつつありますし、とてもうれしくなりました。運動場からは3年生のリズムダンスの練習のメロディーが聞こえてきました。給食が終わって、給食委員会の皆さんが1階と2階で活躍していました。私はいつも突然現れ、お子さんの頑張りを必ず見つけご紹介いたします。



6年生の皆さんの組体操の演技練習

演技練習後に振り返って団結する4年生の皆さん



3年生の皆さんのリズムダンスの演技練習



給食委員会の皆さんありがとう。

明日21日は、F・ミルクと、ウイナーのケチャップソースと、オムレツと、ふんわり食パンと、ミルククリームと、コンソメスープですわね。
給食室の先生方、給食委員会の皆さん宜しくお願いいたします。(。)



夕焼け小焼の赤とんぼ・・・負われていたのはいつの日か・・・15でねえやは嫁に行き・・・♪

作詞/三木露風1889~1964 作曲/山田耕筰1884~1965 【赤とんぼ】

この楽曲は一説によりますと、三木露風自身が故郷の兵庫県豊後郡龍野町(現たつの市)で過ごした幼少期の情景を描いて、三木露風さんをおぶってくれているのは母親ではありません。母親は彼が5歳の頃に産婦人科で亡くなり、母親とは生き別れて三木家の祖父の元で育てられたのだそうです。

そこで子守唄として奉公していた女中さんが世話をしてくれていたようなので、その女中さんにおんぶされて赤とんぼを見た思い出が描かれていると解釈できます。この部分で歌われている「姐や」が世話をしていた女中さんのことで、女中さんに母親を重ねて、もう会えない母親を恋しく思う気持ちも隠されているように思えます。という解釈があります。三木さんは、早稲田大や慶応大で学ばれた後、1921年頃、北海道で文学講師をされていた時に飛んでいる赤とんぼを見て幼少期を懐かしみながら作詞され、その後東京都三鷹市でおくちになるまで随筆活動を続けられたそうです。「赤とんぼ」

の曲は三鷹市防災無線の夕方の時報にも採用されて、いまでも人々の心を癒してくださっています。飯塚市や葛飾市や桂川町でもタワ「中村雨紅さん作詞の夕焼け小焼」と交代で流れている気がいたします。ps1989年(平成元年)に『日本のうた・ふるさとのうた』全国実行委員会がNHKを通して

全国アンケートにより実施した「あなたが選ぶ日本のうた・ふるさとのうた」で、「赤とんぼ」がリクエスト総数952件中96件を占めて第1位を獲得し、また、2003年(平成15年)にNPO「日本童謡の会」が全国約5800人のアンケートに基づき発表した「好きな童謡」で、「赤とんぼ」は851票を獲得し第1位に選ばれています。私の教え子さんの中にも、三木露風さんのように家庭のご事情で、おしんちゃんや、おばあちゃんや、お姉さまや、お兄さまや、おじさまやおばさまにそれぞれ育てていただき、社会に立派に羽ばたいた方がたくさんいらっしゃいますが、現在、素敵なおとうさまやおかあさまや

立派な青年に成長され、社会でご活躍でございます。また、東北の震災にあわれ、哀しさを乗り越えられ努力されている方々とともに、私も日々反省し、これからもすべての皆様のご活躍やご安全を祈念いたします。(。)

